

[4] 串間市小体連（学校数10校 児童数906人）

I 年間事業

期 日	事業名	主な内容	会 場
5月9日(水)	第1回南那珂地区小中学校教科等研究会		南郷ハートフルセンター
5月10日(木)	第1回理事会	前年度事業・会計報告・役員選出・事業計画・予算案審議	本城小学校
6月29日(金)	第2回理事会	研究推進・水泳記録会検討	本城小学校
7月26日(木)	第3回理事会	水泳記録会前日準備	福島小学校・市総合運動公園内プール
7月27日(金)	第39回串間市小学校水泳記録会		市総合運動公園内プール
8月22日(水)	第4回理事会	水泳記録会反省・研究推進・陸上記録会検討	本城小学校
10月04日(金)	第5回理事会	研究推進・陸上記録会検討	本城小学校
10月15日(木)	第6回理事会	陸上記録会前日準備	福島小学校・市総合運動公園陸上競技場
10月16日(金)	第53回串間市小学校陸上記録会		市総合運動公園内陸上競技場
11月13日(火)	第2回南那珂地区小中学校教科等研究会		油津中学校
12月13日(木)	第7回理事会	陸上記録会反省・研究推進	本城小学校
2月13日(水)	第3回南那珂地区小中学校教科等研究会		南郷ハートフルセンター
2月2日(金)	第8回理事会	事業反省・研究のまとめ	本城小学校

II 事業部のあゆみ

1 水泳記録会

- (1) 大会名 第39回 串間小学校水泳記録会
- (2) 実施日 平成30年7月27日(金)
- (3) 会 場 串間市総合運動公園内プール
- (4) 出場者 串間市内各小学校5、6年生代表児童
- (5) 実施種目
  - 自由形25m、50m(5、6年別)
  - 平泳ぎ25m、50m(5、6年別)
  - ※ただし、50m平泳ぎのみ5・6年混合で競技する。(男女は別)
  - 100mリレー男子、同女子
- (6) 競技方法
  - タイムレースとし、出場は、100mリレーを除き、1人2種目とする。
  - 競技は、原則として学年別、男女別とする。
  - その他細部については、串間市小学校体育連盟による競技規則を適用する。
- (7) 日程
 

開会式	8:40	競技開始	9:00
競技終了	11:40	閉会式	11:45
- (8) 表彰
  - 上位6名までを入賞とし表彰し、参加児童全てに記録賞を渡す。
- (9) 反省
  - ・昨年度に引き続き、目的達成にせまるすばらしい大会であった。
  - ・泳法違反で参考記録となった選手が多かった。各学校での指導や競技前の注意をしっかりと行うことが大切である。どこまで泳法違反をとるか、共通理解が必要であった。
  - ・当日、名簿訂正が多かった。特にリレーの泳順が名簿と違う学校が多かった。前日までにしっかりと確認させる必要がある。
  - ・熱中症対策として、ミストや氷、塩分補給用タブレットなど、考えられる対策を行った。開催を止める地区もある中、次年度も開催するかについては検討する必要がある。

## 2 陸上記録会

- (1) 大会名 第53回 串間市小学校陸上記録会
- (2) 実施日 平成30年10月16日(火)
- (3) 会場 串間市総合運動公園内陸上競技場
- (4) 出場者 串間市内各小学校6年生児童 ※小規模校は5年生も参加
- (5) 実施種目
  - トラック競技
    - ・100m ・800m(女子) ・1000m(男子) ・50mハードル ・400mリレー
  - フィールド競技
    - ・走り高跳び ・走り幅跳び ・ソフトボール投げ
- (6) 競技方法
  - タイムレースとする
  - 出場は、100mとリレーを除き、1人2種目とする。100mは全員参加とする。フィールド競技は、1人1種目のみ参加できる。
  - 競技は、原則として学年別、男女別とする。
  - その他細部については、串間市小学校体育連盟による競技規則を適用する。
- (7) 日程 

開会式	9:30	競技開始	10:00
競技終了	14:35	閉会式	14:45
- (8) 表彰
  - 上位6名までを入賞とし表彰し、参加児童全てに記録賞を渡す。
- (9) 反省
  - ・次の日の疲れを考えると、金曜日の実施がよい。
  - ・児童管理の担当が足りなかったため、次年度は人数を増やしたい。
  - ・競技スタート前に、スタートの指導を設定するとよい。
  - ・閉会式での児童のざわつきが気になった。全体指導を行うなどして、市全体で児童を育てるといふ姿勢を打ち出すとよかった。
  - ・各競技の開始時刻がプログラムの予定時刻とずれたため、困った保護者もいたようであった。
  - ・これまで同様に陸上協会の協力をいただき、すばらしい大会を行うことができた。

## III 研究部のあゆみ

### 1 研究主題

運動の楽しさやできる喜びを味わい、運動にすすんで関わる児童の育成  
～基礎的運動能力や主運動につながる力の向上を通して～

### 2 主題設定の理由

現行の体育科学学習指導要領は、「それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、基礎的な身体能力や知識を身に付け、生涯にわたって運動に親しむことができるように、発達の段階のまとまりを考慮し、指導内容を整理し体系化を図る。」ことを重視して改訂された。近年、メディアの急速な発達によって子どもの外遊びの機会は激減してきている。平成28年度体力テストの本県児童のアンケート結果を見ても「運動やスポーツをどのくらいしていますか。(体育の授業を除く)」に対する回答は、A判定の児童は『1週間に3日以上運動する』が50%以上であるのに対し、D・E判定の児童は30%以下である。さらに、「外遊びをどのくらいしていますか。」については、『月に1～3日』または『しない』と答えた児童の割合は総合評価Aより総合評価D・Eの方が高く、学年が上がるにつれて増加している。運動にすすんで関わることは、豊かな人間関係を育むとともに、健康的な生活を送る上でとても重要なことである。そのため、「運動は楽しい。」「運動ができるように

なった。」という経験を味わわせることができる体育の指導は、運動にすすんで関わる児童を育成する上で大変重要な役割を担っていると考える。

しかし、運動にすすんで関わろうとはいっても、運動ができる基礎的な体力が備わっていなければ楽しめる運動も楽しむことができないものである。これが体力の二極化を生む要因ではないかと考える。

串間市小体連の昨年度の研究では、体育科の授業や日常生活において、児童の基礎的運動能力の向上を促すことができるような工夫はないかを考えた。そこで授業においては、器械運動の技の習得につながる力をつける「準備運動10」、日常生活では「かんたん」「たのしく」「効果あり」の視点をもとに「体力向上の運動遊び」を考えた。

研究2年目になる今年度は、昨年度の研究を啓発・実践する年となる。串間市のすべての指導者に「準備運動10」を紹介するとともに、「準備運動10」と「体力向上の運動遊び」を実践したことで児童にどのような変容が見られたか検証していく。また、屋外での学習のために、陸上運動に必要な体力の向上を意識した「準備運動10【陸上運動版】」を作成することで、体育科のどの授業でも活用できるようにしていく。こうすることで来年度以降、より多くの学校で「準備運動10」や「体力向上の運動遊び」を広め、運動の楽しさに触れ、運動にすすんで関わる児童の育成につなげていきたいと考え、本主題を設定した。

### 3 研究の目標

運動の楽しさやできる喜びを味わい、運動にすすんで関わりたくくなるような基礎的運動能力を高める指導の在り方を究明する。

### 4 研究の仮説

体育科授業において、単元の主運動（今年度は器械・器具を使つての運動遊び及び器械運動）につながるトレーニングを短時間で継続的に行うとともに、日常生活においては、基礎的運動能力の向上につながるような運動遊びを「かんたん」「たのしく」「効果あり」の視点で精選し、広めることで、運動ができる喜びを味わうようになり、運動にすすんで関わるようになるであろう。

### 5 研究計画

研究年度	29年度（土台をかためる）本年度	30年度（実践、啓発、まとめる）
研究内容	(1) 実態についての協議 (2) 主運動につながるトレーニング例の配付 (3) 運動遊び集の作成	(1) 準備運動10の運動遊び集の実践・啓発 (2) 準備運動10【陸上運動版】の作成

### 6 研究の実際

#### (1) 準備運動10、運動遊び集の実践・啓発

##### ○ 準備運動10の啓発・実践

昨年度作成した準備運動10を小体連理事が夏の体育科実技研修で紹介した。体育館での授業ではいつでも目に入ることができるようにするために、串間市のどの小学校の体育館にも掲示するという共通実践事項として行った。活用した指導者の感想は以下のとおりである。

- |   |    |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○ 素早くできるので活用しやすい。</li><li>○ ゆりかごの繰り返しから、勢いをつけた前転ができるようになった。</li><li>○ やるべきことが一目で分かるため、児童も覚えて実践している。</li></ul> | など |
|---|----|

実践してみたの感想から、日々の体育科の授業で準備運動10を行ったことが、いざ器械運動の単元に入ったときのその技の達成度を上げることにつながり、児童ができたという喜びを味わうことにつながったのではないかと考える。

### ○ 運動遊び集の実践

本年度の体力テストの各学校の課題に応じ、昨年度作成した体力向上の運動遊びの活用を図った。また、各学校でどの運動をどのように行うかを協議することで、よりよい運動遊びへと改善することにもつながった。「かんたん」「たのしい」「効果あり」の視点で取り入れたこともあって、児童はすぐにその場を使って意欲的に運動遊びをしている様子であった。

以下は遊んでいた児童の感想である。

- |                    |    |
|--------------------|----|
| ○ 昼休みに気軽にできるから楽しい。 |    |
| ○ 友達と競い合うのも楽しい。    | など |



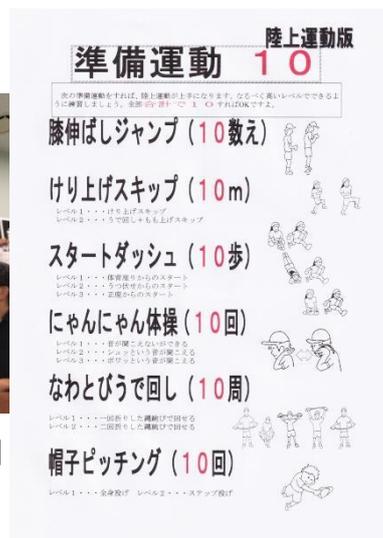
【写真1 運動遊びをしている児童】

### (2) 準備運動10【陸上運動版】の作成

屋外でも行える準備運動10ということで、陸上運動の競技力の向上を意識したものを作成した。県の課題とも繋がるソフトボール投げとすべての競技に関わる短距離走に特化した準備運動を協議した。体育館と同様、運動場での学習でいつでも目に付くことができるように掲示をし、指導者が活用しやすいようにした。



【写真2 準備運動10についての協議】



## 7 研究の成果と課題

### (1) 成果

- 「準備運動10」を啓発・実践することで、体育科の授業で活用され、児童の器械運動の技の達成度の向上につなげ、運動ができる喜びを感じさせることができた。また、屋外でも活用できる「準備運動10【陸上運動版】」を作成することができた。
- 体力向上の運動遊びを実践することで、児童の自ら運動に関わろうとする意欲を高めることにつながり、児童が進んで体を動かすようになった。

### (2) 課題

- 「準備運動10【陸上運動版】」については、より効果的かつ活用しやすいような形にするために効果に応じて修正を検討する必要がある。

## IV まとめ

串間市は複式学級を有する学校や少人数学級など、学校ごとの実態の違いがあり、体育科の指導だけではなく、水泳記録会、陸上教室などの事業運営や研究を進める上で課題が多い。しかし、小体連理事を中心に協力、分担しながら事業を運営し、研究を進めることができた。

今年度、事業部や研究部で出された反省を生かしつつ、次年度もねらいに迫れるように取り組んでいきたい。